

# ESA/CESでのZohoメールの設定

## 内容

---

[はじめに](#)

[Zoho管理ポータルでのゲートウェイの設定](#)

[SMTP ルート](#)

[送信先コントロール](#)

[DNS \(MXレコード\) 設定](#)

[ZohoメールからCisco Secure Emailへのメールの設定 \(送信\)](#)

[Cisco Secure Email Gateway での RELAYLIST の設定](#)

[TLSの有効化](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、ZohoメールをCisco ESA/CESに設定して統合する手順について説明します。

## 前提条件

Zohoダッシュボードへの実務知識と管理者アクセス。

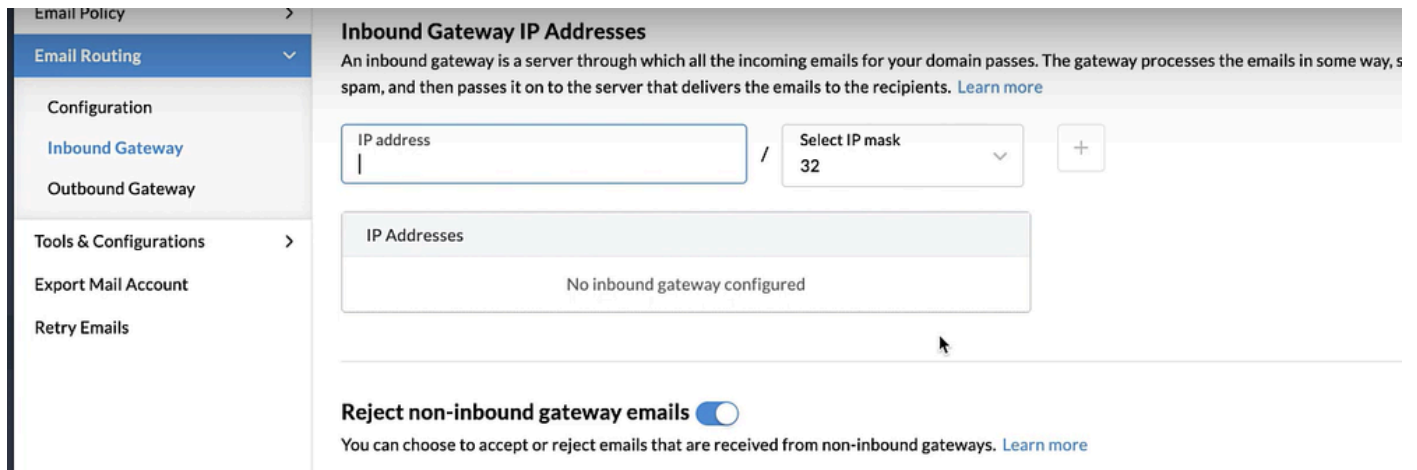
Eメールセキュリティアプライアンスに関する知識とアクセス

## Zoho管理ポータルでのゲートウェイの設定

1. Portal > Mail Settingsの順に移動します。
2. インバウンドおよびアウトバウンドゲートウェイを設定します。

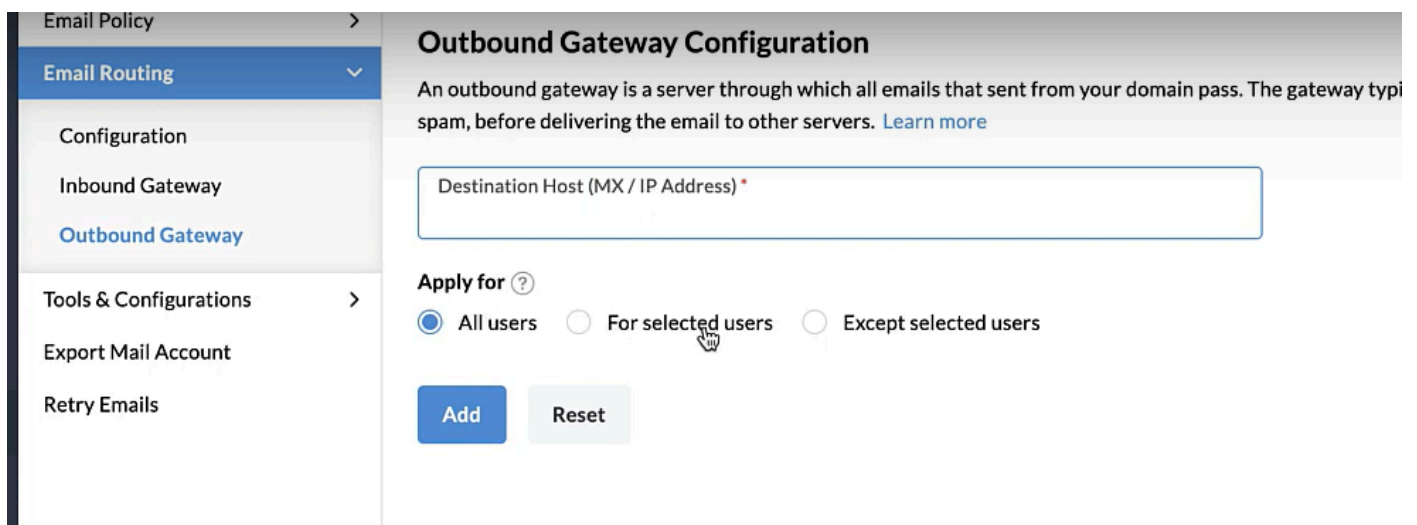
インバウンドゲートウェイ：

Zohoアカウントで設定したドメインの電子メールを受信するCisco ESAサーバのIPアドレスを追加します



アウトバウンドゲートウェイ :

送信電子メールの宛先ホスト ( MXレコードまたはIPアドレス ) を指定します。



Cisco Eメールゲートウェイの着信および発信両方の設定

## Cisco Secure EmailからZoho Mail ( 受信 ) へのメールの設定

### 受信者アクセステーブル

ドメインのメールを受け入れるように受信者アクセステーブル(RAT)を設定します。

1. Mail Policies > Recipient Access Table (RAT)の順に移動します。
2. [受信者の追加]をクリックします。

3. 「Recipient Address」フィールドにドメインを追加します。
4. デフォルトのアクションであるAcceptを選択します。
5. [Submit] をクリックします。
6. UIの右上にあるCommit Changesをクリックして、設定の変更を保存します。

Recipient Details					
Order:	<input type="text" value="1"/>				
Recipient Address: ?	<input type="text" value="your_domain_here.com"/>				
Action:	Accept ▾ <input type="checkbox"/> Bypass LDAP Accept Queries for this Recipient				
Custom SMTP Response:	<input checked="" type="radio"/> No <input type="radio"/> Yes				
	<table border="1"> <tr> <td>Response Code:</td> <td><input type="text" value="250"/></td> </tr> <tr> <td>Response Text:</td> <td><div style="background-color: #ccc; height: 100px;"></div></td> </tr> </table>	Response Code:	<input type="text" value="250"/>	Response Text:	<div style="background-color: #ccc; height: 100px;"></div>
Response Code:	<input type="text" value="250"/>				
Response Text:	<div style="background-color: #ccc; height: 100px;"></div>				
Bypass Receiving Control: ?	<input checked="" type="radio"/> No <input type="radio"/> Yes				

## SMTP ルート

Cisco Secure EmailからZoho Mailドメインにメールを配信するためのSMTPルートを設定します。

1. Network > SMTP Routesに移動します。
2. [ルートを追加... ( Add Route... ) ] をクリックします。
  - 受信ドメイン：ドメイン名を入力します。
  - 宛先ホスト：元のZoho Mail MXレコードを追加します。
3. [Submit] をクリックします。
4. UIの右上にあるCommit Changesをクリックして、設定の変更を保存します。

### Add SMTP Route

SMTP Route Settings			
Receiving Domain: ?	<input type="text" value="domain.com"/>		
Destination Hosts:	Priority ?	Destination ?	Port
	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="server.zoho.com"/>	<input type="text" value="25"/>
	<small>(Hostname, IPv4 or IPv6 address.)</small>		<input type="button" value="Add Row"/>
Outgoing SMTP Authentication:	No outgoing SMTP authentication profiles are configured. See <a href="#">Network &gt; SMTP Authentication</a>		
<small>Note: DANE will not be enforced for domains that have SMTP Routes configured.</small>			

## 送信先コントロール

レピュテーションが不明なためZohoによるスロットリングが不要な場合は、宛先制御の配信ドメインにセルフスロットリングを適用します。

1. ゲートウェイにログインします。
2. Mail Policies > Destination Controlsの順に移動します。
3. Add Destinationをクリックして、次の設定を行います。
  - 宛先：ドメイン名を入力してください
  - 同時接続数：10
  - 接続あたりの最大メッセージ数：20
  - TLSサポート：推奨
4. [Submit] をクリックします。
5. ユーザーインターフェイス(UI)の右上にあるCommit Changesをクリックして、設定の変更を保存します。

## DNS ( MX レコード ) 設定

メール交換(MX)レコードの変更によってドメインをカットオーバーする準備が整いました。DNS管理者と協力して、MXレコードをCisco Secure Email CloudインスタンスのIPアドレスに解決します ( Cisco Secure Emailのウェルカムレターに記載されています )。

## ZohoメールからCisco Secure Emailへのメールの設定 ( 送信 )

### Cisco Secure Email Gateway での RELAYLIST の設定

Cisco Secure Emailの案内状を参照してください。さらに、ゲートウェイ経由の発信メッセージ用にセカンダリインターフェイスが指定されます。

1. ゲートウェイにログインします。
2. Mail Policies > HAT Overviewの順に移動します。



注：リスナーが発信用であることを確認してください。OutgoingMailやMailFlow-Extなどが最もよく使われる名前です。

1. [送信者グループを追加... ( Add Sender Group... ) ] をクリックします。
2. 送信者グループを次のように設定します。
  - [名前]: RELAY\_ZOHO
  - コメント： <<送信者グループに通知する場合はコメントを入力>>
  - ポリシー：リレー
  - 送信をクリックし、送信者を追加します。
  - 送信者：zohoベースのドメインのホスト名(例：.zoho.com)注：。送信者のドメイン名の先頭に ( ドット ) が必要です。

3. [Submit] をクリックします。
4. UIの右上にあるCommit Changesをクリックして、設定の変更を保存します。

## TLSの有効化

1. <<HATの概要に戻る
2. メールフローポリシーRELAYEDをクリックします。セクションEncryption and Authenticationの下にある。TLSには、「優先」を選択します。
3. [Submit] をクリックします。
4. UIの右上にあるCommit Changesをクリックして、設定の変更を保存します。

## 確認

着信/発信メールトラフィックをテストします。

Cisco Secure Email and Web Manager ( SMAとも呼ばれる ) のメッセージトラッキングのメールログで、インバウンドとアウトバウンドの両方のトラフィックについてテストされたメールログを検証します。

## トラブルシューティング

1. ZohoとCisco CESの両方で使用されているIPアドレスとホスト名を確認します
2. RAT、SMTPルートがすべて正しく設定されているかどうかを確認します。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。